

# 伊勢湾台風関連の「自然災害伝承碑」代表事例

## 高潮

(愛知県名古屋市)



昭和34年(1959)9月26日夜半に台風15号(伊勢湾台風)が襲来、高潮のため南部臨海地帯が浸水し、遭難者は約二千余名に及んだ。

## 高潮

(愛知県刈谷市)



昭和34年(1959)9月26日夜の伊勢湾台風では、午後8時ごろ、刈谷市で最大瞬間風速28メートルを記録し、死者14名、倒壊・流失家屋231棟など被害は甚大だった。刈谷市水防・消防団の災害復旧に努めた功績を称え、再び惨状を繰り返さない決意を新たにすため、この碑を建立した。

## 高潮

(愛知県弥富市)



昭和34年(1959)9月26日の夜、史上最大といわれた伊勢湾台風が5m31cmの高潮を伴って当地方に来襲し、瞬時に堤防を決壊させ多くの家屋家財を押し流し、弥富町住民322名の尊い人命を奪い去った。

泥海の中で衣食に窮した生活80余日に及ぶ大自然の猛威を我々の心のいましめとして後世に語り継ぐ。

## 高潮

(愛知県弥富市)



昭和34年(1959)9月26日未曾有の風水害におそわれた伊勢湾台風の犠牲となられた133名の方々のご冥福を祈り、鍋田干拓地の安全と繁栄をこの地に居住されるすべての人々の幸福を祈る。

## 高潮

(愛知県飛島村)



昭和34年(1959)9月26日の夜、史上最大といわれた伊勢湾台風が風速50mの烈風と異例の高潮を伴って当地方へ来襲し、荒れすさぶ怒濤は瞬時に5m70cmの海岸堤防を打越え決壊し、流失家屋132戸に及び家財は全滅し飛島村住民130名の尊い人命をも奪い去ってしまった。

## 高潮

(三重県桑名市)



昭和34年(1959)9月26日当地方を襲った伊勢湾台風は、木曾三川下流部の堤防を寸断し、多くの尊い人命を奪って通りすぎて行った。この碑は堤防やしゅんせつ船の保守に当られ殉職された方々をまつり再びこの悲しみを繰り返かえさないよう祈りをこめて建てられた。

## 高潮

(三重県桑名市)



昭和34年(1959)9月26日伊勢湾北部臨海地域を襲った史上空前の伊勢湾台風は未曾有の大災害をもたらし、当松蔭地区の水難犠牲者は全域にわたり105人を数えた。

## 高潮

(三重県木曾岬町)



昭和34年(1959)9月26日の伊勢湾台風により木曾岬町では300名を越える方が亡くなった。破堤した堤防はその後順次締め切れ、11月9日、この地点を最後に完全に締切が行われた。